

契 約 変 更 理 由 書

神 戸 市

工 事 名	中央（熊内町他）配水管取替工事その 1
契約変更後の工事概要	
(管布設延長) φ 75（給）－9.6m φ 100－241.6m φ 150－679.6m (管撤去延長) φ 75（給）－6.3m φ 100－54.3m φ 150－995.5m φ 200－4.6m	
契約変更の理由	
<p>① 仮配管の計画変更について（増）</p> <ul style="list-style-type: none">・当初、仮配管を計画していたルートの一部は道路敷地内に民地があった。また、雨水暗渠、污水管、ガス管の占用により仮配管を埋設する余地がなかった。そこで、既設配水管の一部（給水管取出し無し区間）を仮配管・仮付替管として利用した。 <p>② 配管布設位置の一部変更について（増）</p> <ul style="list-style-type: none">・試掘の結果、既設配水管 φ 150（約45m区間）が街路樹植栽帯の直下に布設されている区間があった。管理者（建設局中部建設事務所）との協議の結果、街路樹を撤去・新植のうえで、既設配水管を撤去（残置不可）し、歩道部に新管を布設することとなった。 <p>③ 道路掘削跡の舗装復旧構造について（増）</p> <ul style="list-style-type: none">・布引中学校東側の既設舗装について、当初は市道 7 号工（Co舗装）を市道3号工（As舗装）に変更する計画であったが、管理者（建設局中部建設事務所）と再協議の結果、現場が急な坂路部につき、スリップ防止のために現況に合わせた舗装工種（市道 7 号工＋真空コンクリート）への変更となった。 <p>④ 交通誘導員の変更について（増）</p> <ul style="list-style-type: none">・工事区間は交差点や道路幅員の狭い場所が多いことから、片側交互通行や車両通行止めのために交通誘導員の増員を行った。・コンクリート舗装（市道 7 号工＋真空コンクリート）の養生期間中は片側規制となり、葺合警察署と協議の結果、交通誘導員を24時間体制で配置するよう指示を受けたため、交通誘導員の増員を行った。	

（公表 様式第 6 号）